

No.190

★ちば

県議会だより

県議会は、年に4回（2月、6月、9月、12月）定例会を開きます。ちば県議会だよりは、各定例会の審議の概要等をお知らせしています。

〔発行〕千葉県議会

〔編集〕千葉県議会事務局政務調査課

〒260-0855

千葉市中央区市場町1-5

TEL 043-223-2523

FAX 043-222-4073



千葉県議会

9月定例会県議会のあらまし

9月定例会県議会は、9月5日に招集され、10月3日までの29日間にわたり開催されました。

開会日には、議長の諸般の報告に続き、令和7年度一般会計補正予算等の議案31件、審査請求に関する諮問1件、報告15件および決算認定についてが上程され、知事から提案理由説明と当面する諸問題等について報告がありました。

9月11日から7日間にわたり行われた代表質問および一般質問は、22名の議員が登壇し、知事の政治姿勢をはじめ、財政問題、防災対策、福祉、道路、教育問題等について活発な議論が展開されました。

9月22日の一般質問終了後、諮問1件が先議となり、付託された総務防災常任委員会で審査した後、本会議において採決の結果、諮問に係る審査請求について棄却すべきである旨答申することに決定しました。

9月22日には議会運営委員会が、9月25日から4日間にわたり各常任委員会が開催され、付託された議案・請願について具体的・専門的な審査が行われました。

閉会日には、各常任委員会および議会運営委員会委員長の審査結果報告、討論が行われ、採決の結果、31件全ての議案が原案のとおり可決・承認されました。

令和7年9月定例会県議会の概要（会期日程、議案・発議案の賛否一覽等）は、千葉県議会ホームページに掲載しています。



代表質問



9月11日（木）



自民党 小路 正和 議員（勝浦市・いすみ市・夷隅郡）

- 交通問題・いすみ鉄道など
- 防災対策・フェーズフリー政策など
- 農林水産業の振興
- 県内の広域道路ネットワーク
- 水道用水供給事業の統合
- 教育問題・県立高校の空調整備など



立憲民 鈴木 均 議員（習志野市）

- 知事の政治姿勢（ちばの魅力発信他）
- 県有建物長寿命化計画の財政負担
- 在宅介護体制の整備
- 第2次千葉県文化芸術推進基本計画
- 建物耐震化・水道管の耐震化対策
- 部活動地域展開の課題



9月12日（金）



公明党 篠田 哲弥 議員（松戸市）

- 「千葉県多様性が尊重され誰もが活躍できる社会の形成の推進に関する条例」
- 財政問題
- 防災
- 街づくり
- 警察



千政団 石川 りょう 議員（船橋市）

- 大阪・関西万博への出展に対する評価
- 外国人等との共生社会の実現に向けて
- 手賀沼および印旛沼における外来水生植物
- 中小企業におけるデジタル技術の活用促進
- 教員の志願者増加のための取り組み
- 公立高校生の自転車通学時のヘルメット着用



9月16日（火）



共産党 丸山 慎一 議員（船橋市）

- 県営水道の料金値上げを避けるための提案
- 新湾岸道路は人口減や部分的改良で必要なし
- 県立高校の統廃合は中止し少人数学級実施を
- 純利益を活用して東葉高速鉄道運賃値下げを
- ギャンブル依存症は「脳の病気」周知し対策強化を
- 自衛官募集目的の児童生徒への働きかけ中止を



質問項目は、主な項目を掲載しています。



ちば高校生県議会を開催

7月28日（月）に、次代を担う若者が、県議会議員との直接の対話を通して県議会や議員の仕事に対する関心を高め、主権者としての政治参加意識の醸成を図ることを目的に、初めてちば高校生県議会を開催しました。

県内在学の高校生36名が高校生議員となり、本会議場で模擬投票を行い議長役を選出、その後3つの委員会に分かれ、設定されたテーマについて現職の県議会議員とともに活発な議論を行い、政策提言をまとめました。

まとめた政策提言は、本会議場で各委員会の委員長が報告し、これに対する質疑・答弁を行った後、採決を行った結果、全ての提言が可決され、ちば高校生県議会は終了しました。



総務委員会



企画委員会

会派等別議員数		
会派等名	略称	議員数
自由民主党千葉県議会議員会	自民党	50人
立憲民主党千葉県議会議員会	立憲民	13人
公明党千葉県議会議員団	公明党	8人
千葉新政策議員団	千政団	5人
日本共産党千葉県議会議員団	共産党	4人
平和の党	平和党	1人
国民民主党千葉県議会議員会	国民	1人
千葉県民の声	県民声	1人
リベラル民主	リベ民	1人
市民ネットワーク	市民ネ	1人
市民力	市民力	1人
有志の会	有志	1人
野田民主の会	野田民	1人
無所属議員		3人
定数95人 現員91人		（令和7年8月1日現在）



福祉委員会

ちば高校生県議会政策提言書



代表質問から

知事の政治姿勢

■成田空港の産業拠点形成の実現に向け、県はどのように取り組みを進めていくのか。

【答】国は、令和7年度、拡大する航空機の整備需要を国内に取り込むことを目指し、航空機エンジン用大型試運転施設の導入を支援する予算を計上しており、これを受け、現在、関係事業者において、成田空港内を候補地とした検討が進められていると認識をしている。

こうした動きは、航空機整備等を行うMRO産業の集積につながり、さらには、航空宇宙産業以外の成田空港の特徴や強みを生かせる産業集積の呼び水となることも期待され、今後、空港周辺における産業用地に対する急速なニーズの高まりが見込まれる。

県としては、こうした機会を逃さず産業用地を確保していくことが重要であると考えており、空港周辺での産業集積に向けてスピード感をもって取り組むため、県が、空港周辺での産業用地整備について直接取り組むことも選択肢に、事業主体や手法などに係る検討を進めていく。

交通問題

■つくばエクスプレスの東京駅延伸について、県はどのように取り組んでいくのか。

【答】つくばエクスプレスの東京駅延伸は、都心へのアクセス利便性の向上や県北西部の発展につながる一方、都心部での大規模な投資事業になることが見込まれるため、鉄道事業者や沿線自治体などの関係者間で十分に検討する必要があると考えている。こうした中、沿線自治体で構

成される期成同盟会において、東京駅延伸に向けた要望活動が実施された他、つくばエクスプレスを運行する首都圏新都市鉄道においても、延伸の効果を研究する調査を令和7年秋以降に開始することが発表されるなど、事業化に向けた機運が高まってきている。

県としては、これらの状況を踏まえ、鉄道事業者や国、沿線自治体などの関係者と連携を図るため、期成同盟会に参加することとしたいと考えており、東京駅延伸に向けた取り組みとして、要望活動や課題についての議論などを行っていく。

■いすみ鉄道の復旧工事の進捗はどうか。

また、県として、早期復旧に向けてどのように支援していくのか。

【答】いすみ鉄道では、現在、東側区間のうち、大多喜駅から国吉駅までについて、鋭意、工事を進めるとともに、できる限り工期を短縮して早期の運行再開を図るため、現場の施工会社を増やすことについて、関係者と調整している。

今回の補正予算案では、こうした取り組みにより、令和7年度の復旧工事が最大限に進捗した場合を想定し、いすみ鉄道に対する補助金として1億5千万円を増額したところであり、関係市町においても、県と同額を予算措置することとしている。

県としては、一日も早く安全・安心な鉄道として運行再開できるように復旧を進めるとともに、代行バスの運行が確保され、利用者にとって不便が生じないよう、関係市町としっかりと連携しながら、いすみ鉄道を支援していく。

防災対策

■災害対策基本法の改正を踏まえ、県は今後どのように取り組んでいくのか。

【答】このたびの法改正は、能登半

島地震の教訓等を踏まえ、被災者に対する福祉的支援の充実や、ボランティア団体との連携、広域避難の円滑化、防災DXの推進など、現場の実情に即した災害対策を強化するための重要な見直しと受け止めている。

現在、県では、被災者支援システムの全県導入や、市町村、社会福祉協議会、ボランティア団体等が相互に連携する支援体制の確立に取り組んでいるところであり、こうした取り組みと併せて、法改正の趣旨や近年の災害から得られた教訓等を、地域防災計画に反映させる修正を進めている。

今後とも、国の動向を的確に捉えながら、国の総合防災情報システムとの連携による、国・県・市町村間の情報共有の円滑化や、市町村と連携して広域避難におけるマニュアルの作成にも取り組み、災害に強い千葉県づくりを推進していく。

農林水産業の振興

■夏場の高温が常態化する中、県は園芸産地の強化にどのように取り組んでいくのか。

【答】県では、これまで、園芸産地の強化に向けて、生産者の規模拡大や産地の出荷体制の整備を進めてきたが、特に近年は夏季の気温の上昇により、さまざまな園芸作物に被害が出ていることから、高温対策を迅速に進めていくことが重要である。

このため県では、令和7年度から新たに、施設内の温度を下げるための換気装置や自動かん水設備、遮光資材などの高温対策に必要な機械・設備の導入支援に取り組んでおり、多数の生産者から申請があった。

令和8年度に向けても、非常に多くの要望があることから、生産者が早期に対策が取れるよう予算を増額するとともに、関係機関と連携しながら、効果的なかん水方法など栽培技術の改

善等も進め、高温下でも安定的に農産物を供給できるよう産地強化に取り組んでいく。

■県では、落花生の振興にどのように取り組んでいくのか。

【答】落花生は本県を代表する特産品として全国的に認知されており、来年、令和8年には、明治9年に旧山武郡那郷村で栽培が開始されてから150年の記念の年を迎える。

県では、これまで「Qなつこや」「おおまさり」など県オリジナル品種の育成や省力機械の導入支援、小学校等での栽培体験などにより落花生の振興を図ってきたところだが、150周年を契機として、落花生の歴史を振り返り、今後の発展につなげるため、関係団体などと連携して、記念イベント等を開催することとしている。

さらに、民間企業等との連携を拡大し、ゆで落花生やピーナッツソフトクリームなどの産地ならではの食べ方や、さまざまな加工品等による落花生の新たなイメージを県内外に向けて発信するなど、落花生のさらなる振興を図っていく。

ちばの魅力発信

■「ちばの発酵」の認知度をさらに高めるため、どのように取り組んでいくのか。

【答】これまで、本県の発酵の魅力を紹介する動画やリーフレットを作成し、ホームページ等で発信するとともに、令和7年度は、生産量全国1位である醤油と県産食材を組み合わせてPRする「ちばの醤油グルメフェア2025」の開催や、「ちばの発酵口ゴママーク」の作成など、さまざまな取り組みを進めている。

大阪・関西万博では、醤油やみりんを県の特産品と組み合わせたオリジナル発酵メニューが好評であったため、今後は、レシピを合わせてPRすることによりおいしい食べ方を提案するな

ど、本県ならではの発酵の魅力を発信していく。

県が誇る発酵の魅力を、県産品の販路拡大や県内誘客の促進、文化の振興などさまざまな分野と結び付け、市町村や企業等の関係者と連携しながら、全県を挙げて「発酵県ちば」の取り組みを進めていく。

多様性尊重条例

■多様性条例が制定されて1年半が経過したが、条例の目指す社会の実現に向けて、これまでどのように取り組んできたのか。

【答】多様性が尊重され誰もが活躍できる社会を実現するためには、県行政のあらゆる分野において条例の理念を踏まえた施策を実施していくとともに、県や市町村のみならず県民や事業者が多様性尊重の意義を共有し、社会全体で取り組んでいくことが必要である。

このため、県ではこれまで、部局横断的な総合調整を行うための組織として多様性社会推進本部を設置し、女性活躍の推進や生涯現役社会の実現、障害者の社会参加の促進、外国人との共生、LGBTQへの理解促進など、幅広い分野で企業や団体、県民に働きかけつつ、取り組みを進めてきた。

今後、多様性尊重の意義を広く県全体で共有していくとともに、生きづらさの解消や多様な人材が活躍できる千葉県づくりに向けて、全庁を挙げて取り組んでいく。

特定外来生物

■スマートフォンアプリを使用した外来水生植物の分布調査の実施状況はどうか。

また、この調査を今後どのように生かしていくのか。

【答】ナガエツルノゲイトウなどの外来水生植物は、繁殖力や再生力が非常に強く、県内でも生態

系や農業等への影響が問題となっている。これらを効率的に防除するためには、より多くの目で監視し、正確な分布状況を把握することが大変重要となる。

このため県では、県民から広く分布情報を集めるため、スマートフォンアプリを使用した県民参加型の分布調査を7月1日から11月14日まで実施している。

この調査は、ナガエツルノゲイトウを含め7種の外来水生植物を発見した際に、写真を撮影しスマートフォンアプリに投稿していただくもので、8月末時点で157件の情報が寄せられた。

この調査で得られた情報は、県内分布図の更新等に活用するとともに、新たな地点で分布が確認された場合には、いち早く関係機関と共有することにより、速やかな駆除につなげられるよう努めていく。

ギャンブル依存症対策

■県として財政的な支援を検討するとともに、病院と連携して県内に一時的に入院できる場所を確保すべきだと考えるが、どうか。

【答】ギャンブル等依存症は、適切な治療と支援により回復が十分可能な疾患であることから、専門的な治療および社会復帰に向けた支援を行うことができる医療機関を確保していくことが重要であると考えている。

このため、県では、国の研修を修了した医師や専門職による治療回復プログラムの提供や、自助グループ等と連携して生活上の課題への助言指導を行うことができる、入院にも対応した医療機関を、専門医療機関として選定しており、現在2病院を確保している。

引き続き、専門医療機関の確保に努めるとともに、ギャンブル等依存症の方への適切な支援に努めていく。

可決承認された議案・発議案

令和7年度補正予算関係7件

▽一般会計

▽特別会計（6件）

条例の制定

▽千葉県水道用水供給条例

条例の一部改正（8件）

▽職員の旅費及び費用弁償に関する条例及び特別職の職員等の給与、旅費及び費用弁償に関する条例

▽法人の県民税の特例に関する条例

▽使用料及び手数料条例

▽千葉県防災基本条例

▽認定こども園の認定の要件を定める条例等

▽千葉県医師修学資金貸付条例

▽水質汚濁防止法に基づき排水基準を定める条例

▽千葉県水道事業、工業用水道事業及び造成土地管理事業の設置等に関する条例及び県営水道事業の布設工事並びに布設工事監督者及び水道技術管理者の資格を定める条例

その他15件

▽千葉県行政に係る基本的かつ総合的な計画の変更

▽契約の締結（7件）

▽契約の変更（5件）

▽損害賠償の額の決定及び和解

▽専決処分承認

議員提出

◆条例の一部改正

▽千葉県議会議員の議員報酬等に関する条例



各常任委員会の 主な質疑から

総務防災常任委員会

問 企業局の官製談合防止法違反事件の調査の過程で、別の事業者からも供応接待を受けていたことが判明したが、県では、県土整備部の収賄事件を受け、再発防止に向けて取り組んでいた中に発生した事案であり、コンプライアンス徹底のための新たな取り組みが必要と考えるが、どうか。

また、服務に関する自己点検で、職員から違反の申告があった場合、どのように対応するのか。

答 新たな取り組みとして、全職員を対象に、服務に関する自己点検を記名方式で行うこととし、職員倫理条例等に関する違反行為がないことを誓約させ、仮に違反がある場合は申告させることとした。

また、自己点検で違反の申告があった場合は、詳細を確認した上で、違反事実に応じた処分を検討する。

総合企画企業常任委員会

問 新総合計画について、県民への広報については、どのように実施していくのか。

答 議会の議決後、県ホームページ、県民だよりに掲載する予定である。

また、計画の内容を分かりやすく伝えるため、広報用の冊子を作成し、SNSでも発信するなど県民の皆さまへの周知をしっかりと進める。

健康福祉常任委員会

問 訪問介護等サービス提供体制

確保支援事業の中で、訪問介護事業所の経営改善を支援する専門家を派遣することだが、その背景と内容はどうか。

答 県が関係団体等にヒアリングを行ったところ、小規模な訪問介護事業所では、経営改善の取り組みに着手する余裕がなく、処遇改善加算等の取得も難しいことなどの意見をいただいた。

本事業は、こうした意見等を踏まえ、小規模な事業所に対し、コンサルタント等の専門家が巡回して、経営状況の改善や、処遇改善加算を含む各種加算の新規取得等に関するアドバイスや伴走支援を行うものである。

また、支援対象の事業所数については、20事業所程度を想定しており、一事業所当たり、少なくとも2回以上、専門家を現地へ派遣する予定である。

環境生活警察常任委員会

問 人件費の主な減額補正理由等について、新規採用職員の採用不足による減額とのことだが、今後、どのように採用不足を埋めていくのか。

答 令和6年度の警察官採用試験で予定数に満たなかった不足分については、令和7年度の警察官採用試験の採用予定数に上乗せして募集を行っている。

しかしながら、年2回の採用試験では、令和7年度においても採用予定数に満たない見込みのため、年度内に第3回目の採用試験を行う方向で人事委員会と調整しているところである。

商工労働常任委員会

問 銚子市沖洋上風力発電事業について、選定事業者の撤退による県内中小企業者等への影響はどうか。また、「銚子地域の未来創造会

議」については、今後、どのように進めていくのか。

答 県内中小企業者等に対する影響調査を実施したところ、144件の回答があり、このうち影響ありとの回答は21件だった。

今後、ヒアリング調査を行うなどして詳細な状況を確認し、引き続き対応を検討していく。

また、「銚子地域の未来創造会議」では、銚子地域の今後の漁業共生や地域振興に関する取り組みについて、これまでの取り組みを基本として、関係者とともに検討を進めていきたい。

農林水産常任委員会

問 稲作農業について、収量を安定させるためには、気候変動を踏まえた対策が必要かと思うが、取り組み状況はどうか。

答 各地域の作柄調査データを基にした対策資料を発行することともに、新聞広告などにより、追肥の励行や適期収穫の徹底などを図ってきた。

今後、高温下でも食味や収量性に優れた品種の導入や普及、適切な栽培管理の励行など、引き続き、関係機関と連携して、安定生産に取り組んでいく。

県土整備常任委員会

問 新湾岸道路について、早期の計画の具体化に向けた現在のコミュニケーション活動の実施状況はどうか。

答 地域の理解や協力を得ながら道路計画を策定するため、令和7年7月から沿線住民や企業などへ、情報発信や意見聴取を行っている。

また、8月19日から10月5日まで、全27会場で開催中であり、さらに今回は、沿線への広報紙の全戸配

布を行い、拡充して実施している。

パネル展やオープンハウスの来場者数は、現時点で前を上回っており、多くの方々とコミュニケーションが図られると認識している。

引き続き、丁寧な合意形成に努め、計画の早期具体化に向け取り組んでいく。

文教常任委員会

問 債務負担行為を設定する特別支援学校3校についてどのような理由により増額の設定をするのか。また、新設する2校の開校スケジュールに変更はないか。

答 浦安市立明海南小学校と君津高校上総キャンパスへの改修等による学校新設および印旛特別支援学校の仮設教室棟設置について、老朽化した施設の改修やスロープの設置、作業棟の増床などの施設の充実、また、物価高騰分を見込んだことから増額を行うものである。

開校スケジュールについて、浦安市立明海南小学校への学校新設は、令和9年度開校予定に変更はないが、君津高校上総キャンパスへの学校新設は、追加の設計を行うため、令和9年度開校から令和10年度開校予定に変更する。予定の変更については、保護者等への説明を丁寧に行っているところである。

千葉県議会公式 X・フェイスブック

県議会の情報を随時配信していますので、ちば県議会だよりと併せて、ぜひご覧ください。

X

フェイスブック



常任委員会活動報告

常任委員会では、それぞれの所管する事項の審査の参考とするため、現場に出向いて調査活動を行っています。詳しくは、ホームページをご覧ください。



総務防災常任委員会

調査日 令和7年9月30日(火)

調査先 千葉県消防学校(市原市)

消防職・団員の災害対応力の強化

実災害での活動経験や訓練の機会が少ない消防団員の技術力の維持・向上を図るために実災害を想定したVRコンテンツ訓練を体験した後、施設内を視察しました。



施設の備蓄倉庫について説明を受ける委員

総合企画企業常任委員会

調査日 令和7年9月26日(金)

調査先 千葉テレビ放送株式会社(千葉市)

県政情報等の効果的な発信に係る調査

千葉テレビ放送株式会社を視察し、若年層に対する効果的な情報発信の方法や、災害発生時の情報発信の状況・体制について調査しました。



生放送のニュース番組をスタジオの隣で見学する委員

商工労働常任委員会

調査日 令和7年9月26日(金)

調査先 三井リンクラボ柏の葉1(柏市)

柏の葉における研究開発施設の集積および街づくり

柏の葉において進められているさまざまな技術・研究機関、ライフサイエンス分野などの企業やスタートアップの集積に向けた取り組み等の説明を受けた後、施設内を視察しました。



施設の造りや入居企業について説明を受ける委員

県土整備常任委員会

調査日 令和7年9月29日(月)

調査先 一宮川・一宮川第二調節池(茂原市)、一宮川第三調節池(長生郡長柄町)

一宮川流域浸水対策特別緊急事業の進捗状況および今後の見通し

一宮川流域における護岸法立工事箇所、一宮川第二調節池の増設箇所および一宮川第三調節池の工事箇所の進捗状況等について現地調査を行いました。



一宮川第三調節池で工事の説明を受ける委員

一般質問

質問項目は、主な項目を掲載しています。
その他の項目は、千葉県議会ホームページに掲載しています。



9月16日(火)



自民党
佐野 彰 議員
(千葉市中央区)

- 新湾岸道路
- 保健医療大学
- 新県立図書館と地域との連携
- 学校給食の地場産物活用



自民党
渡辺 務 議員
(富津市)

- 熱中症対策
- 地方創生2・0
- 少子化対策
- 県産木材の有効活用

9月17日(水)



自民党
瀧田 敏幸 議員
(印西市・印旛郡栄町)

- 千葉ニュータウン中央駅前のデータセンター建設
- 千葉ニュータウン北環状線
- 成田空港の鉄道アクセス
- 児童相談所



自民党
田中 幸太郎 議員
(市川市)

- 地球温暖化に対する適応策
- 被災地における犯罪とその予防
- 人口減少社会への対策
- 市川地域の諸課題



公明党
赤間 正明 議員
(市川市)

- 中小企業支援
- 上下水道の課題
- 解体工事の重要性
- 胃がん対策



立憲民
関根 じろう 議員
(松戸市)

- 県にゆかりの宇宙飛行士の顕彰
- 補助犬に対する環境整備
- 避難所体育館トイレの多目的化
- 吃音(きつおん)の理解促進



自民党
鷲見 隆仁 議員
(千葉市美浜区)

- 障がい者歯科医療
- 地域交通政策
- 幕張新都心におけるプロスポーツの施設整備
- 警察官の採用



立憲民
伊藤 ちかこ 議員
(白井市)

- 千葉の梨
- 成田スカイアクセス線
- こどもと家庭への支援
- 観光立県ちば



自民党
高橋 秀典 議員
(旭市)

- フェーズフリー
- 農産物に関する出口戦略
- ロケツーリズムとフィルムコミッションの機能強化
- 地球温暖化対策における中小企業への支援



平和党
西尾 憲一 議員
(船橋市)

- 就職氷河期世代の積極的採用
- 禁煙対策
- 民間住宅を借り上げ公営住宅に
- 加齢性難聴



自民党
小川 としゆき 議員
(千葉市若葉区)

- 県市間の協議
- 観光政策
- 薬物対策
- アニマルウェルフェア



自民党
宮坂 奈緒 議員
(浦安市)

- 女性に対するAEDの使用
- 道路問題
- 宿泊税導入に向けた取り組み
- 原爆被害者の実態調査



立憲民
網中 肇 議員
(千葉市中央区)

- 県職員の人材確保と育成の強化
- カスハラ対策の充実・強化
- 鴨川市のメガソーラー問題
- 定員内不合格0人の実現



自民党
小野崎 正喜 議員
(山武市・山武郡)

- 成田空港
- 森林の保全・整備
- 過疎対策
- 道路問題

- フェーズフリーの取り組みの推進
- 水道施設の防災対応
- がんセンターのハイパーサーミア
- AEDの使用および心肺蘇生法の実施



自民党
関 政幸 議員
(千葉市緑区)



自民党
森 岳 議員
(木更津市)

- 経済活性化
- 電力の安定供給
- GXへの取り組み
- 防災対策



国民
天野 行雄 議員
(千葉市稲毛区)

9月22日(月)

「決算審査特別委員会」の設置



令和7年9月定例県議会において、千葉県の令和6年度一般会計および特別会計の決算を審査するため、決算審査特別委員会が設置されました。

■ 審査日程(開会時間 各日午前10時)
10月10日(金)・31日(金)・11月7日(金)・11日(火)・14日(金)・17日(月)

■ 委員名簿

会 派 名	委 員 名			
自 民 党	◎岩 井 泰 憲	○森 岳	中 村 実	
	小野崎 正 喜	伊 藤 寛	宮 坂 奈 緒	
	松 崎 太 洋	雨 宮 真 吾	田 畑 毅	
	小 高 夕 佳			
立 憲 民	竹 内 圭 司	網 中 肇	伊 藤 ちかこ	
公 明 党	仲 村 秀 明	鈴 木 和 宏		
千 政 団	須 永 和 良			
共 産 党	加 藤 英 雄			

◎委員長 ○副委員長

(令和7年9月22日現在)

令和7年12月定例県議会 会期および議事・委員会予定(素案)

月 日	議事・委員会予定		開議時間
11月20日(木)	開会	TV	午前10時
27日(木)	質疑並びに一般質問	TV	//
28日(金)	//	TV	//
12月 1日(月)	//		//
2日(火)	//		//
3日(水)	//		//
4日(木)	//		//
5日(金)	//		//
9日(火)	常任委員会(総務防災・総合企画企業)		//
10日(水)	// (健康福祉・環境生活警察)		//
11日(木)	// (商工労働・農林水産)		//
12日(金)	// (県土整備・文教)		//
17日(水)	閉会		午後1時

※本案はおおむねの日程であり、招集日前の議会運営委員会で協議されます。
※傍聴される場合は、議会ホームページで最新の情報をご確認ください。

TV …テレビでの生放送を予定しております。
…パソコン、スマートフォンなどでインターネット中継をご覧になれます。

… 9月定例県議会 知事あいさつ

このたび提案致しました案件は、令和7年度9月補正予算案、各種条例案およびその他附帯議案の31議案の他、諮問1件、報告15件および「決算認定について」です。

◎新たな総合計画の策定

総合計画については、今年5月に素案を公表し、県議会の皆さまをはじめ、県民や市町村、有識者の皆さまから幅広くご意見をいただいたところです。

このたび、いただいたご意見を踏まえつつ、具体的な事業や指標も新たに盛り込み、計画案として今議会に提案を致しました。

計画案については、頻発化・激甚化する災害や人口減少社会の到来など、喫緊の課題に対応し、県民の命とくらしを守るとともに、誰もが豊かなライフスタイルを実現できる千葉県を目指し、全ての県民と共に、新しい千葉の未来を創っていくとの思いを込め、名称を「千葉県総合計画～千葉の未来をともに創る～」としたところです。

新しい総合計画の下、今を生きる県民の皆さまと、20年後、30年後の県民の皆さまからも評価いただけるよう、県議会の皆さまとともに千葉県の総力を結集し、基本理念として掲げた「県民を守り、支え、そして飛躍する千葉の実現」を目指して、取り組みを加速してまいりたいと考えています。

◎令和7年度補正予算案他

議案第1号は、令和7年度一般会計の補正予算案です。

9月補正予算では、6月補正予算編成後の状況変化等を踏まえ、必要な事業費を計上しました。

また、年度間の財源の調整を図り、健全な財政運



営に資するため、令和6年度の決算剰余金の2分の1を財政調整基金に積み立てます。

この結果、補正予算額は78億9,300万円、補正後の予算規模は2兆1,956億9,000万円となります。

議案第2号から議案第7号までの6議案は、いずれも特別会計に係る補正予算案です。

次に、議案第8号から議案第16号までの9議案は、条例の制定、一部改正に係るものです。

議案第18号から議案第24号までの7議案は、安房合同庁舎の建て替えや防災行政無線の再整備などに係る契約を締結するため、議案第25号から議案第29号までの5議案は、インフレスライド条項等に基づき工事請負の契約金額を変更するため、議案第30号は、損害賠償の額の決定および和解のため、それぞれ議会の議決を得ようとするものです。

議案第31号は、パトカーの接触事故に関し、相手方と和解することについて専決処分を行ったので、議会の承認を得ようとするものです。

この他、大阪・関西万博への出展について報告等がありました。

知事あいさつの全文は、県ホームページでご覧になれます。

千葉県議会 知事あいさつ